



## 資料提供



2019年11月21日  
株式会社 中電工

### 「第64回（令和元年度）澁澤賞」の受賞について

このたび、株式会社中電工（本社：広島市 代表取締役社長：迫谷 章）と日本安全産業株式会社（本社：富山県富山市 代表取締役社長：藤井 義晴）は、配電線工事で使用する「引下線保持具Ⅱ型の開発」において、一般社団法人日本電気協会から「第64回（令和元年度）澁澤賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

同賞は、電気保安確保等に優れた業績を上げた個人・グループに贈られ、民間で唯一の電気保安関係表彰として各界から認められている権威ある賞です。

「引下線保持具Ⅱ型」は、配電線工事の変圧器取り替え作業において、高圧引下線縁線（以下、「縁線」という）を切断・保持・接続する際、同保持具のみで縁線を固定でき、取り付け位置を縁線に限らず高圧配電線路まで対応可能とした工具です。

これまでは同作業を行う際、縁線の固定に1名、切断等の作業に1名が必要なため、必ず2名で作業を行っていましたが、このたび開発した「引下線保持具Ⅱ型」を使用することにより、1名での作業が可能となります。

1名で作業を行うことにより、従来より作業空間が大幅に確保でき、作業効率の向上、および感電災害や地絡停電事故の未然防止による安全性の向上が期待できます。

加えて、間接活線作業対応工具としたことで、高圧引下線垂れ下がりによる地絡停電事故の未然防止を図ることができます。

当社は、今後も作業効率および安全性の向上を図ることができる工具等の開発に取り組んでまいります。

<参考資料> 「引下線保持具Ⅱ型」の概要等について

以上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社 中電工

電力本部 配電安全品質部

技術担当課長 田口 英男

TEL 082-233-9039

「引下線保持具Ⅱ型」の概要等について

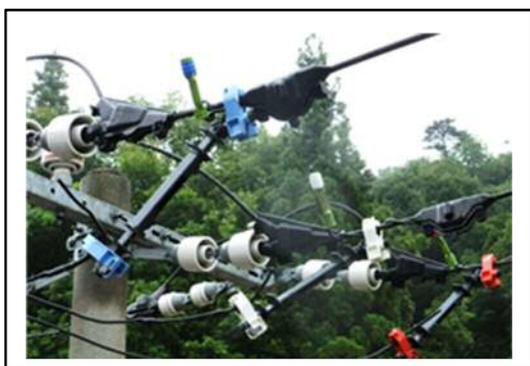
(1) 「引下線保持具Ⅱ型の開発」の特長・仕様等について

【各部名称】



【性能】

項目	性能
特長	高圧引下線縁線 3.2~14 mm <sup>2</sup> のみに限らず、高圧配電線路 25~200 mm <sup>2</sup> まで対応可能
絶縁抵抗	絶縁抵抗計 (1,000 V) で 2,000 MΩ以上であること
絶縁耐力	20,000 V、5 分間で異常がないこと
落下衝撃	高さ 1 m からコンクリート床面へ落下させ、実使用上有害な異常を生じないこと
把持力	1.6kg のおもりを 1 分間加え、脱落などの異常がないこと
耐熱	50 ± 2℃、1 時間加熱した後、ひび割れ、変形などを生じないこと
耐寒	-20 ± 2℃、1 時間加熱した後、ひび割れ、変形などを生じないこと



高圧引下線切離し完了状況



高圧引下線接続状況

(2) 「第 64 回 (令和元年度) 澁澤賞」授賞式

